



広 報 資 料

今年初、上空より冬の使者『流氷』発見

第一管区海上保安本部 海氷情報センターでは、航空機による今年初の海氷観測を1月11日（木）に実施し、オホーツク海を南下中の流氷の一部が、紋別の北北東方約40kmまで接近していることを確認しました。

1 海氷観測の日時・方法

観測日時：令和6年1月11日（木）11時25分～13時42分

観測方法：千歳航空基地所属航空機（MA723、愛称：おおわし）
による海氷目視観測

2 海氷分布状況



観測結果については別紙のとおりです。

オホーツク海を南下中の流氷は、紋別の北北東方約40kmまで接近しています。

※海氷分布状況は、今後の風や海流の影響により大きく変化することもありますので、船舶で付近を航行する際には、十分に注意して頂くようお願いいたします。

3 データ提供について

海氷観測中の流氷などの画像（動画・静止画）をオンラインストレージサービスにより提供いたします。

4 Web ページによる情報提供

今回の航空機による海氷観測結果は別図のとおりです。

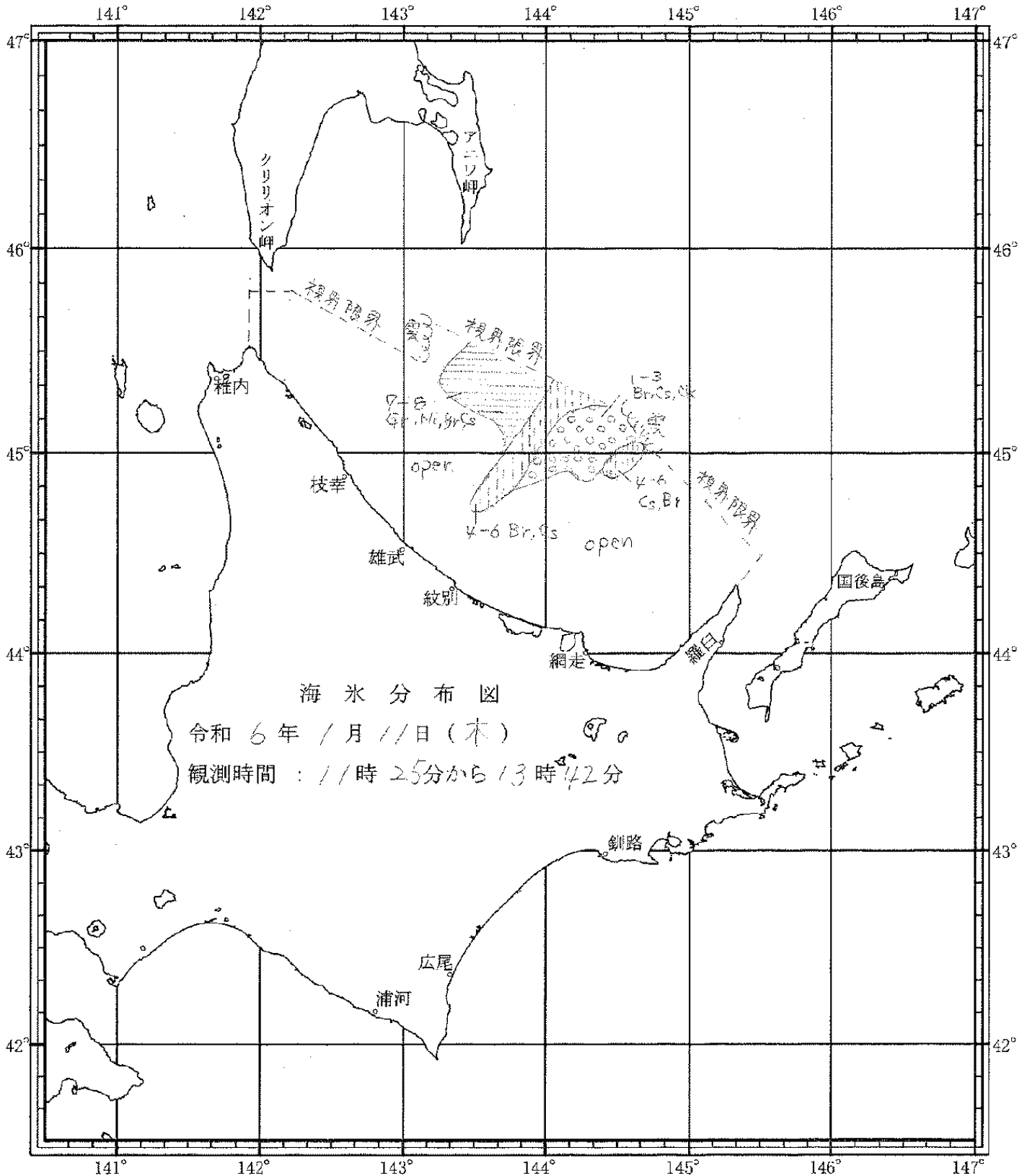
今回の観測結果も加えた海氷分布図を「海氷速報」として毎日17時頃に掲載いたします。

○海氷情報センターWeb ページ

URL <https://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.html>



海水分布図



海水分布図
令和 6 年 1 月 11 日 (木)
観測時間 : 11 時 25 分から 13 時 42 分